

第 21 回新潟内視鏡外科研究会

日 時 平成 24 年 7 月 14 日 (土)
12 時 45 分～
会 場 万代シルバーホテル
5F 万代の間

I. 一般演題

1 完全単孔式手術における当科の臍形成のポイント

～前処置・切開・縫合と臍窩形成について～

大滝 雅博・堀田真之介*・八木 寛*
羽入 隆晃*・二瓶 幸栄*

鶴岡市立荘内病院小児外科
同 外科*

2 看護師からみた単孔式腹腔鏡補助下虫垂切除術

牧野沙也香・山本 伸・飯塚 敦
井越由美枝・桑原 明史*

済生会新潟第二病院手術室
同 外科*

【目的】急性虫垂炎に対する単孔式腹腔鏡下手術 (SILS) と開腹手術に対する看護スタッフの意識調査を行い、現状把握と問題点の抽出を行う。

【方法】当院手術室看護スタッフ計 25 名を対象とし、開腹と単孔式腹腔鏡下虫垂切除術に対する無記名アンケート調査を施行。

【結果】手術準備時間では SILS は開腹術と比べて長くかかり、手術時間も長い印象を持っていることが分かった。開腹術の際はキット化されているが、SILS は単包で集める物品が多い現状も明らかとなった。手術手順と必要器具の把握・理解は、開腹術の方が SILS よりわかるという人が大多数を占めていた。しかし、自分が患者の場合、開腹術を選ぶと答えた人は 1 人もおらず、半数以

上が SILS を選択していた。

【結語】SILS の利点は感じているものの、手術前準備の手間・術中の操作にあたり知識不足・SILS 物品の少なさによる負担が SILS に対しての抵抗感へとつながっていると考えられた。

3 腹腔鏡下虫垂切除術・単孔式 4 ポート (TANKO-4) の検討

植木 匡・多々 孝・石塚 大
石川 博補

厚生連柏崎総合医療センター外科

【はじめに】昨年、虫垂炎の待機例に対する単孔式手術としてグローブ法による 3 ポート法を報告したが、操作性の改善を目的としプロテクターを用いた 4 ポート法 (TANKO-4) を導入したので検討を加えた。

【対象と方法】虫垂炎に対する腹腔鏡下手術は 19 例で、単孔式が 12 例であった。TANKO-4 は、急性期の非穿孔例と待機例を適応とし 7 例を行った。

【結果】臍に 2.5cm の縦切開を加え、プロテクター装着後、EZ アクセスと 5mm のイーリートロッカーを 4 本使用した。回盲部を授動し虫垂切除を創外にて行った。4 例目からは虫垂間膜処理を 5 例目は腸管切除を創外にて行った。待機が 4 例、緊急が 2 例であった。手術時間は、虫垂切除が 60 から 186 分、回盲部切除が 3 時間 36 分で、術後経過はいずれも良好であった。超音波凝固切開装置を除いた消耗品のコストは 28000 円で、従来の当院の術式より減額が可能であった。

【結語】TANKO-4 は、ポートの装着や癒着剥離・回盲部授動が容易となり、単孔式手術の導入や指導時に有用であると思われた。